

さよなら原発！ さよなら空母！

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

2012年4月27日 創刊号

5月5日は「原発ゼロ」を子どもたちへ！

東京・芝公園を「さよなら原発鯉のぼり」で一杯にしましょう

現在唯一稼働中の原発、北海道電力泊3号は5月5日に定期検査のために運転を停止します。原発の再稼働をストップできれば、5月5日には日本の全原発が停止します。

ストッププルトニウム神奈川連絡会（事務局連絡先：プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川）では、4月5日、原発の再稼働を認めないように四閣僚あての要請書（右囲み）を各議員の議員会館事務所に持参して提出しました。

枝野経済産業相は「電力需給を理由に原発の再稼働は認めない、夏の電力消費も原発なしで乗り切れる」と発言したと思ったら、四閣僚会議で形ばかりの安全確認を行い、福井県に了解を求めに行くなど、原発の再稼働を進めようという「原子カムラ」の圧力は大きいです。

「さよなら原発」の動きをさらに加速し、広げていきましょう。

原発ゼロの日 さようなら原発 5・5（ゴーゴ）集会

日時：5月5日（土・休）

13：00～（時間は予定）

場所：東京・芝公園23号地

（東京タワー下）

（地下鉄「御成門駅」A1出口3分、

「神谷町駅」3番出口4分）

内容：集会、パレード

2012年4月5日

内閣総理大臣 野田 佳彦 様
経済産業大臣 枝野 幸男 様
原発担当相 細野 豪志 様
官房長官 藤村 修 様

ストッププルトニウム神奈川連絡会
共同代表 飯川 賢
共同代表 関口 清

要 請 書

停止中の原発の再稼働は絶対に認めないでください。

福島第一原発において、事故で破壊された原子炉は高放射線環境で人が近づくことができません。格納容器や圧力容器などの重要機器がどのような状況にあるのかまだ何もわかっておらず、原因調査には長期間を要することは明らかです。今、事故の経験を反映した、十分な安全基準を作成することはできません。

また、今後対策を行ったとしても、地震の多い日本で、技術的、経済的に可能な範囲で原発の安全性が確保できるとは考えられません。使用済み核燃料（高レベル放射性廃棄物）をこれ以上増やし、将来の世代に押し付けるべきではありません。

早急に、エネルギー革命を進めるため、再生可能エネルギーの供給網を確保するための制度、インフラの整備、エネルギー地産地消への思い切った補助など、エネルギー対策特別会計を原子力偏重から大きくシフトしてください。

「原発ゼロで、この夏を乗り切ろう」というメッセージをはっきりとわかりやすく発信し、将来にわたっても原発を再稼働することなく、脱原発を実現することができることを具体的な計画で示してください。

（構成団体）

自治労神奈川県本部

神奈川県高等学校教職員組合

全水道神奈川県支部

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

放射能から子どもたちと未来を守る会

武蔵工大原子炉事故連絡会

（連絡先事務局団体）

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

放射能汚染がれきの広域処理はやめよう！

—上田札幌市長は「安全の確証が得られない」と震災がれきの受入れを拒否

環境省が協力する形で、3月9日、東京都内において、首長有志による「みんなの力ががれき処理プロジェクト」の発起人会が開催され、岩手・宮城の震災がれき広域処理キャンペーンが強化されました。プロジェクトには5県12市町村の首長が発起人として参加し、神奈川県は、黒岩神奈川県知事、林横浜市長、阿部川崎市長、加山相模原市長の4氏が名前を連ねています。（環境省のホームページに載っています）

3月18日夕方には、川崎駅前で開催されたイベントが催され、環境省職員が何十人も動員されて、ちらし配り、通行人の整理、広域処理に反対する市民への対応などにあたっていました。イベント会社にも相当な費用を支払ったことでしょう。

札幌市には3月16日付で、野田佳彦総理と細野豪志環境大臣から「東日本大震災により生じた災害廃棄物の処理に関する特別措置法第6

条第1項に基づく広域的な協力の要請について」という要請書が届きました。全国の多くの首長が「被災地を助けないのか」という人情論に流され、受入れれば処理費用を収入として見込めるというそろばん勘定に走る中で、上田文雄札幌市長は、3月23日、「東日本大震災で発生したがれきの受入れについて」市の見解を公式ホームページに掲載しました。長文なので、ここでは一部をご紹介します（下段）。

そして、4月4日、政府に対して正式に「現在、国から示されている基準や指針では、放射性物質に汚染された災害廃棄物の処理体制として、安全の確証が得られる状況にはないと考えており、現時点で安全性が明確にされていない災害廃棄物を受け入れることはできません。」と回答しました。

神奈川県知事、横浜、川崎、相模原の3市長も見習ってほしいものです。

東日本大震災により発生したがれきの受入れについて

（前略）…『放射性廃棄物は、基本的には拡散させない』ことが原則というべきで、不幸にして汚染された場合には、なるべくその近くに抑え込み、国の責任において、市民の生活環境に放射性物質が漏れ出ないように、集中的かつ長期間の管理を継続することが必要であると私は考えています。非常時であっても、国民の健康と生活環境そして日本の未来を守り、国内外からの信頼を得るためには、その基本を守ることが重要だと思います。（中略）…

札幌市の各清掃工場では、一般ごみ焼却後の灰からの放射性物質の濃度は、不検出あるいは1キログラム当たり13~18ベクレルという極めて低い数値しか出ておりません。私たちの住む北海道は日本有数の食糧庫であり、これから先も日本中に安全でおいしい食糧を供給し続けていかななくてはなりません。そしてそれが私たち道民にできる最大の貢献であり支援でもあると考えます。（中略）…

私自身が不安を払拭できないでいるこの問題について、市民に受入れをお願いすることはできません。

市民にとって「絶対に安全」であることが担保されるまで、引き続き慎重に検討していきたいと思っています。

2012年3月23日 札幌市長 上田文雄

3月10日、11日 郡山は熱く燃えた！

—寒風の中脱原発を訴える！— 3・11 福島県民大集会&関連集会報告

3月10日の朝から、郡山駅近くの会場は多くの人々が集まって、メイン会場は満席になり始めていました。

私は別室での、子供の疎開を求めて裁判に訴えている「国際市民法廷」の記者会見に参加したり、被災地での性暴力が気になって、ジェンダーを扱うワークショップに参加したりしました。

前者の「市民法廷」では、記者会見後の話し合いの時に現地の男性から、当事者と支える側の温度差が指摘されたりといった場面がありましたが、主催の方が的確でわかりやすく、ていねいに、こうした指摘をせざるを得ない現実はあるが、共に向かっていくことでしか成し得ない未来への切望を伝えてくれたのに感激してしまったのでした。

後者は、主に母親たちの子供との生活についての不安が話され、現地のどの子も疎開できたらいいのにということでした。

翌11日の午前中は、大集会前の時間にもかかわらず、メインの鎌田慧さんの講演と被災地の各地からの訴えには大ホールからロビーにまで溢れ出た人々の熱気でムンムン。厚着の上着を脱いだほど。

私は駅前のメイン会場から離れた所で「沈黙のアピール」というワークショップに参加しましたが、福島県知事と県民の直接会見実現にむけて支援の取組みを要請されました。

郡山スタジアムの大集会とデモは寒風の中、熱く脱原発を訴えることができたと思われます。(M. I)

東電交渉・院内政府交渉に参加して…

「原発いらない」と動き出した私を感じたこと

3月よりプルトニウムフリー神奈川に仲間入りさせていただき、今回3/26 東電交渉と3/27 原発再稼働問題院内交渉での原稿のご依頼を受けました。目まぐるしく変化する再稼働を巡る状況にとっても原稿を書けずにいましたが、今日現在の自分の気持ちの整理のためにも、3/26、3/27 両日を振り返ってみたいと思います。

まず、3/26の東電交渉。正式名称を「東京電力と共に脱原発をめざす会」という存在がある事自体驚きでした。なぜ東京電力と共に？と思いつつ、会場に行ってみました。その交渉の中身はまるで東京電力松本さんによる東京電力会見とニュアンス的には同じものと感じました。同じ日本語を使っているというのに、まるで言葉が通じない。わざとかなと思える程に立て板に

水の如く滑らかで無駄な言葉が多く、いつの間にか論理のすり替えも巧妙に行われるため気が抜けない反面、あまりのいい加減さに呆れて集中する気が失せてしまいます。これが世に言う東大話法でしょうか。

この交渉を長年粘り強くなさっていらした皆さんのご努力に頭が下がりました。

次に、3/27。「原発再稼働に待った」をかけるために参議院議員会館で行われた政府交渉。まとめが主催団体などのホームページに上がっていますが、活断層の連動を考慮していない事や制御棒の挿入時間が許容値ぎりぎり、3連動地震では許容値を上回る事など、具体的なものでもおかしいと思う事がたくさんあります。

(<http://www.foejapan.org/>の報告が、わかりやすく、その後の活動も載っています。)

この2日間の参加で政府や電力会社、学者たちの根深い構造には更に驚くばかりですが、私は声をあげない国民に一番の問題点を感じます。1000万人署名を求める署名活動をしていても、「自分には関係ない」「名前や住所を書くのは嫌だ」などとの声が聞かれます。それ以前に拒否のスタイルを取る人のなんと多い事か！「自分が見逃してしまったからフクシマが起きた」と国民全体で考えるようにならない限り、操作されたテレビの流す毒のないお笑いで、もうフ

クシマは終わった事、自分には関係ないと騙され続けるのかと暗い気持ちになりました。

4/11の夜のデモには情けない事に発熱のため参加出来なかったのですが、激しい雨の中を5キロという長い距離のデモにかかわらず700人もの参加者があり、脱原発を目指す仲間がたくさんいると心強く思いました。IWJのユーストリーム中継も最後まであり、一人でも多くの人に見て貰いたいと思えました。

今後ますます目が離せない局面が続きます。共に脱原発を目指しましょう。(K, M)

原発再稼働問題を考えるためのおすすめの本1冊です。

『原発を再稼働させてはいけない4つの理由』

e-シフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)編
合同ブックレット(本体600円)

原発を止めるのは「集団自殺」だと国民を脅す政治家もいますが、そんな人々に反論するための情報が満載！

再稼働を止めるための4つのポイントはこれだ！

①原子力規制長が新設されても「規制行政」の根本は変わらない。②ストレステストでは安全確認できない。③原発なしでも電気は不足しない。④周辺自治体の同意が必要。

そして、誰でもできるアクションも紹介。(Y.M)

エコとピースで新しい社会をつくるー自然エネルギーで新しい未来を拓くー

5月3日(木・祝)13:00~
横浜市開港記念会館

みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分
13:00~映画

子どもたちを放射能から守れー福島のだたかい(予定)

13:40~講演 田中優さん
(未来バンク事業組合理事長)

主催:かながわ憲法フォーラム
資料代:500円

小出裕章さん講演会 in ヨコハマ

5月26日(土)12:15~15:00
神奈川芸術劇場

みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分
主催:実行委員会

前売り:900円、当日:1000円

音楽イベント

『NO NUKES 2012』

7月7日(土)~8日(日)

千葉・幕張メッセ

国際展示場で開催

坂本龍一さんの呼びかけに賛同したアーティストが2日間で18組出演予定

主催:NO NUKES 2012事務局

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川 定例会のお知らせ

日時 5月20日(日) 午前9時30分~11時30分

6月10日(日) 午前10時~12時30分

場所 神奈川県民活動サポートセンター

5/20:704号室 6/10:709号室

アクセス:横浜駅西口ヨドバシカメラ裏

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

〒221-0002 神奈川県横浜市神奈川区大口通 83-2-213 (水沢気付)

Tel&Fax.045-423-0341 pu-free-com@k.nifty.jp